

対象国の条件:

研修コース番号:201984738-J002

案件番号:201984738

主分野課題:自然環境保全/持続的森林管理

副分野課題:貧困削減/貧困削減

使用言語:英語

**案件概要**

多くの途上国では、自然資源を含む森林回復の経験不足のため、森林保全管理部門の人材不足、組織としての政策実施能力の不足等により、森林管理活動が思うように進んでいない。かつての日本でも途上国同様に森林破壊の経験を持ち、地域住民を取り込んで植生回復を行ってきた歴史がある。このため、森林管理活動には地域住民を取り込むことが有効な手段と考えている。今日の日本では林業普及員が中心となり、木材生産のための森林管理活動、生計向上につながる林産物利用、生活環境を保障するための自然災害防止等、各地で多様な取り組みを行っている。当コースでは、生態系にも配慮しながら、国内外の地域住民が関わる森林管理活動の事例を学び、自国の森林管理活動が推進されることを目的としている。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

持続的森林管理に必要な知識・技術並びに地域住民の参加による持続的森林管理を実現するための必要な手法・事例が、所属部署組織の関連部署で共有される。

**【対象組織】**

森林管理にかかる公的機関

**【成果】**

1. 日本の国・自治体（北海道）の持続的森林管理に係る計画、組織・制度、施業の実例（地域住民の関わり）を理解する。
2. 日本の市町村、個人・企業・森林組合等による森林施業と木材利用の実例（地域住民との関わり）や技術を理科する。
3. 日本の自然保護と保護区管理の制度や実例（地域住民との関わり）を理解する。
4. 持続的な森林管理に向けた住民の生計ニーズ配慮と参加の重要性についての国際議論、手法および取組みを理解する。
5. 研修内容を踏まえ、自国の地域住民の参加による持続的森林管理のための課題を再整理し、課題解決に向けた技術面・制度面での実践にかかる提案を作成する。

**【対象人材】**

1. 地域住民に森林管理の普及ができる者
2. 関連業務を3年以上経験を有する者。
3. 50歳未満の者

**内 容**

**【事前活動】**

自国の地域住民の参加による森林管理活動の現状にかかるインセプションレポートの作成・提出

**【本邦研修】**

- 以下の内容の講義、実習、演習、討論、視察を行う。
1. 1) 日本の森林・林業、国の森林計画、組織・制度、施業の実例を理解する  
2) 国・道の森林・林産研究、大学による研究・教育（演習林）  
3) 森林と地域産業（水産資源・木質バイオマス・観光等）の関わりについて理解する。  
4) 治山について理解する。
  2. 1) 地域による森林施業の実例と、森林施業技術（育種、受粉、さし木、育苗、保育等）  
2) 地域による木材利用の実例と、木材加工技術（合板、ペレット、木質バイオマス利用等）  
3) 地域による木材資源以外の実例と、加工技術（山菜加工、キノコ研究等）
  3. 国、自治体、地域住民の関わりによる自然保護と利用（森林保全、生物多様性保全、保護区管理、森林公園）について理解する。
  4. 1) 持続的森林管理のための国際的な森林認証制度  
2) 地域住民の生計ニーズと森林資源管理：住民参加、規制、インセンティブ  
3) 海外における地域住民の参加による森林管理の取組み
  5. 1) プロジェクトマネジメント（課題解決法、プレゼンテーション技術）  
2) 参加者の経験の共有（地域住民による森林管理の課題と解決事例）

**【事後活動】**

所属組織における報告の実施

<b>本邦研修期間</b>	2019/9～2019/11
<b>担当課題部</b>	地球環境部
<b>所管国内機関</b>	JICA北海道（帯広）
<b>関係省庁</b>	農林水産省
<b>実施年度</b>	2019～2021

**主要協力機関**

調整中

**特記事項  
及び  
ホームページ**

社団法人海外林業コンサルタント協会のURL

<http://www.jofca.or.jp/>